

事務事業名	真岡市ことばを育てる親の会運営補助金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費			
事業概要	この会は真岡西小学校通級指導教室（ことばの教室）に通級している児童の親で組織されている。会員数は年度途中で「ことばの教室」を終了する児童がいるために、流動的であるが、毎年、40～50人程度が通級している。主な事業として、会報の発行、親子レクリエーション、中部地区言語障害児療育訓練への参加などを行っており、それらの事業に対し補助を行っている。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、会員活動支援のための補助金を交付する。 2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 補助金額	千円	22	22	22	22	22		
イ								
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ことばを育てる親の会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 児童の保護者数	人	57	43	43	46	46		
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ことばに障がいのある児童に対して適切な会話をできるようにするため、保護者間の情報交換、連携を図られるようにする。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 情報交換、連携が図れた保護者数	人	57	43	43	46	46		
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ことばを育てる親の会の支援を通して、言葉に障がいのある児童が適切な会話ができるようにする。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 適切な会話ができるようになった児童数	人	25	35	23	27	27		
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22	22	22	22	22	
	事業費計(A)	千円	22	22	22	22	22	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	26	26	26	26	26	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	通級指導教室に通級している児童と親の会を支援するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	通級指導教室に通級している児童の数は横ばいの状況にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	